

## R8.2.18(水)開催 令和7年度第6回 小竹町地域ケア会議 アドバイザーとして参加

令和8年2月18日水曜日、午後3時30分～午後4時15分まで、小竹町地域ケア会議に

精神保健福祉士の立場でのアドバイザーとして、当院 認知症医療センター室長の江頭が参加させて頂きました。地域ケア会議では、江頭の他に、介護支援専門員、主任介護支援専門員、薬剤師、在宅介護支援センターなどの他職種の専門職で、対象者の自立に向けての解決方法等に議論しました。

参加者は事例提供者を含めて、13名でした。

今回は、『身寄りがない高齢者で支援を拒否される方の関わりについて』というテーマで

1名の方の検討が行われました。会議後に、精神保健福祉士の立場から、支援体制や事例提供者の関わり方などについて、助言、意見させて頂きました。単身独居。子供はいるが関わりがなく、亡くなった後のことは親戚に任せている。生活保護と老齢基礎年金を受給していて、聴覚に障害がある方。

ご本人の考え、価値観が強く、介入のタイミング【ご本人が入院中に事象の振り返りと枠づくり】、やり方がなかなか難しい、事例提供者だけでなく、支援者によるチーム作り、電話が使用できないという状況を考え、在宅での見守り体制を構築していくことが求められると感じた。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、このような機会を頂きました、小竹町地域包括支援センターの皆様、関係者の皆様方に大変感謝いたします。又、話題提供として、当センター主催の研修会の告知や桂川町、川崎町の見守り事業の報告、飯塚記念病院で実施している治験の紹介などをさせて頂きました。

会議の  
様子  
です。

